

各 位

平成 21 年 6 月 18 日
SBI ベリトランス株式会社

月会費、継続課金や大量の決済処理を一括で行う 「BPS サービス」開始のお知らせ

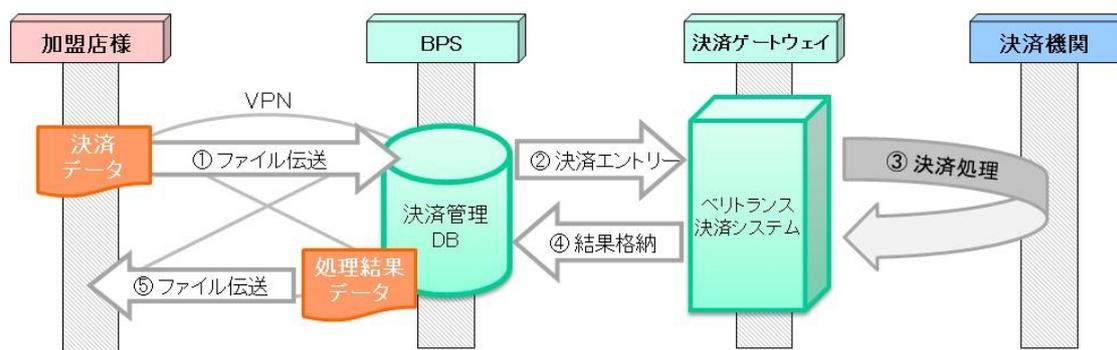
オンライン決済ソリューションを提供する SBI ベリトランス株式会社(東京都港区 代表取締役：沖田 貴史、以下「SBI ベリトランス」)は、EC 事業者向けに、大量の決済を一括で自動処理することができる「BPS (Batch Payment System) サービス」を開始したことを発表いたします。

通常、オンライン決済は、リアルタイムで処理を行いますが、予約販売や月会費などの継続課金は、決められたタイミングに一括して決済処理を行う必要があります。また、大型コンピューターを用いて構築されている基幹系システムの中には、その仕組みの違いから、Web サーバーなどの業務上関連するシステムと、リアルタイムでデータ連携することを得意としないケースも見受けられました。

BPS サービスは、ファイル伝送および一括処理に特化したシステム構成をとっており、このような継続課金を一括で安全かつ高速に処理することができます。また、基幹系システムから出力された決済データファイルをそのまま処理することができるため、EC 事業者の方が柔軟なシステム構築を行うことも可能です。処理性能においては、従来のサービスと比較して、標準で 3 倍の速度に拡張するなど大幅な向上を図りました。さらに、本サービスは設計段階よりクレジットカード業界のセキュリティ基準である「PCI DSS(※)」準拠前提で開発しているため、データファイルは高強度に暗号化され、データ伝送の際はセキュリティの保たれた経路を用いるなど、高い安全性を実現しております。

なお、本サービスは、予約販売、月会費課金といった EC での継続課金に活用できるだけでなく、カタログ通販や頒布会を取り扱われている事業者の方にもご利用いただくことができます。当社カード決済サービスの特長である、会員のクレジットカード番号を保有しなくとも決済処理(継続課金)を行える機能についても、引き続き対応してまいります。

【ご参考:BPS サービス処理フロー】



- 処理フロー① : EC 事業者側で決済処理するデータファイルをご作成の上、当社へファイルを伝送
- 処理フロー②,③ : 当社側で受け取った決済データを一旦データベースに格納の上、
決済システム上で決済処理を実施
- 処理フロー④ : 決済処理結果を再度データベースに格納
- 処理フロー⑤ : 決済処理結果ファイルを出力し、EC 事業者にご返送

※ PCI DSS:Payment Card Industry Data Security Standard

ビザ、マスターカード、JCB、アメックス、ディスカバリーの国際ブランド5社が中心となり策定した、カード情報セキュリティの国際統一基準。ペイメントカード業界に限らず、情報セキュリティに関するベストプラクティスとして、官公庁・自治体・学校法人・事業法人などカード情報を保管、処理、伝送するあらゆる業種に有効なデータセキュリティ基準です。

【本件に関するお問い合わせ先】

SBI ベリトランス株式会社 コーポレートブランディング室 担当: 堀田 / 山口 (IR)

Tel: 03-6229-0850

Email: pr@veritrans.co.jp